

アーティストのイメージ戦略とファンにおけるその受容 —EXILE が支えるヤンキー文化のマイルド化—

舞田 有希

(君塚ゼミ)

目次

- はじめに
- 1章 時代とヤンキーの姿
- 2章 現代風ヤンキーの登場
- 3章 EXILE の活動におけるマイルドヤンキー戦略
- 4章 EXILE ファンにみるマイルドヤンキー性
- おわりに
- 参考文献

はじめに

アーティストはそのファンを表し、ファンもまたそのアーティストを表す、という言葉を知ることがある。確かに好きになったアーティストは自分の好みの要素を持っているだろうし、ずっと応援していれば少なからずファッションやライフスタイルに影響を受けることもあるだろう。また、ファンマナーがきちんとしているファンを持つアーティストもマナーがなっている、などと言われることもあり、アーティストとファンの間には密接な関係があり、互いに写し鏡のような存在になっている。

私にも中学生のころからずっと応援しているアーティストがいる。EXILEである。EXILEと言うアーティストはしばしば「かっこいい」「歌がうまい」などと言うイメージに加えて、EXILEを良く知らない人からはその独特な見た目から、「イカツイ」「こわい」といった声も挙がる。また、そのようなイメージからか「ヤンキー」が好むアーティストとしてもよく名前が挙がっている。実際ライブなどに行くとヤンキー的な特徴を持った人が特別多い様には見えない。しかしそのようなイメージはEXILEが人気になっていくにつれ増えているような気がする。本当にEXILEを好

む人にはヤンキーと呼ばれるような人が多いのか。EXILEが持つ特徴はどのようなもので、彼らに惹かれる人たちとはどのような人なのか知りたいと思った。そこでこの研究では、EXILEのファンには実際にヤンキーが多いのか、またそのような人たちがEXILEのアーティスト活動についてどう思っているのかを明らかにする。そのためには本来アンケート調査を行い、ファンの構成を明らかにするべきだが、今回は条件上厳しいためアンケート調査の予備調査となるところまでに留まっている。

1章ではヤンキーという言葉の意味、ヤンキーという言葉が使われてきた歴史をたどっていく。2章では近年に現れたマイルドヤンキーという存在を紹介しその特徴をまとめていく。3章ではEXILEはどんな特徴を持ち、どのような点でマイルドヤンキーの心を掴んでいるのかをまとめ、彼らが持つヤンキー性について考える。4章ではEXILEファンにインタビューを行い、彼らの中にあるマイルドヤンキー性、そしてEXILEの活動は彼らにどのようなものをもたらしているかについてまとめる。最後にEXILEのヤンキー性、マイルドヤンキーという存在との関わりなどの点から今日のヤンキー像や若者に支持されるEXILEの役割についてまとめていきたい。

1章 時代とヤンキーの姿

この章ではEXILEを好む層であるというヤンキーについて、その言葉の語源や使われ方の移り変わりなどについてまとめておきたい。

1-1 ヤンキーの語源

ヤンキーという言葉の意味は「不良行為を行う少年及び不良っぽい雰囲気のある少年。」「アメリカ人の俗称。」(注1)である。

日本におけるヤンキーという言葉はたいてい前記の意味でつかわれることが多い。

この言葉のはっきりとした語源はわからないとされている。しかし、様々な文献やサイトで紹介してある主な2つの語源を紹介しておく。

1つ目は、南北戦争当時、アメリカ南部で北軍の北部諸州人を軽蔑した呼び方が「Yankee」であったとされている。2つ目は、関西弁の「～やんけ」と言う言葉がなまって「ヤンキー」となったというものである。このことから、ヤンキーと言う言葉が関西発祥の言葉であるという説もあるがあまり有力ではないようだ。

1-2 ヤンキー文化の歴史

1970年代以前、日本でヤンキーという言葉はまだ使われていなかった。現在使われているようなヤンキーという言葉に近い意味の言葉には「不良」「非行少年」「番長」などがあつた。1968年から「ヨコスカマンボ族」という存在が登場する。彼らは新宿にたむろし、リーゼントやポマードで髪型を決め、女性も真っ赤な口紅をつけ、黒の下着や花柄のビキニを着用したりと、のちの「ヤンキー」と呼ばれるスタイルに似たファッションスタイルをしていた。

1970年代に入り、ヤンキーという言葉が一般化する。しかし、これは今日的な「悪っぽい」「不良」と言った意味ではなく、アメリカ兵の遊び着スタイルの「ヤンキー・ファッション」を意味していたものであつた。この当時は渋谷や新宿のディスコで遊ぶ若者が増え、この「ヤンキー・ファッション」を真似していた人もいたという。そうしたディスコブームもきっかけに、「ヤンキー」という言葉は広まった。

70年代の中ごろになると、今日のヤンキー的な立場を指す「ツッパリ」という言葉が出てきた。この頃の若者を取り巻く環境としては、74年に高校進学率は90パーセントを超えて「受験戦争」という言葉が一般化し始めた頃であつた。しかし、一方で校則などに反抗するものもおり、教師に対する校内暴力は激化した。この反体制的な態度から彼らは「ツッパリ」と呼ばれた。1980年にデビューしたロックバンド「横浜銀蠅」も、この「ツッパリ」をコンセプトに活動をしていた。

また、この頃に暴走族を中心とした不良たちがヤンキーとみなされるようになる。暴走族の摘発を狙いに道路交通法などが改正されるが、暴走族の勢いは90年前半まで続いていくことになる。「暴走族を中心として徐々に醸造されていったのが、いわゆるヤンキー文化—リーゼントや剃り込み、そして特攻服といったものである。だが、70年代はまだこうしたヤンキー文化はそれほど浸透していない。『ゴッド・スピード・ユー!〜』でも、彼らの外見の共通性は低く、80年代のヤンキースタイルとはほど遠い。」(注2)

1980年代に入り、暴走族や不良を題材にした映像作品や漫画なども増えてきた。この頃の典型的なヤンキー像は、きうちかずひろの漫画『BE-BOP-HIGHSCHOOL』（講談社『週刊ヤングマガジン』掲載）で描かれている。登場人物のリーゼントヘアや「ボンタン」などの幅の広いズボン、派手な色柄のシャツを好んで着ている様子は現実の不良少年のイメージを不良少年自身だけではなく一般にも浸透させた。この作品はのちに映像化もされ、同シリーズはヒットした。

80年代から90年初頭にかけて、不良少年少女全般を指して「ヤンキー」と呼ばれるようになる。この言葉を一般にまで広く浸透させた一つとして83年に発表された嘉門達夫の「ヤンキー兄ちゃんのうた」というものがある。

1990年代に入り、徐々にヤンキースタイルはダサイものとして認識されるようになってきた。それと同時にチーマーやコギャルが登場する。チーマーは、首都圏の大学付属の私立高校の学生が渋谷を中心にクラブやディスコでパーティーを主催する集団だつた。学校や教師に突っ張る訳でもなく、暴走族のような厳しい規律や上下関係もなく、ヤンキー的ではなかつた。コギャルはもともとチーマー男子がナンパしていた女子たちを指していた。しかし、のちにミニスカートのルーズソックスのスタイルをする女子を指すようになる。彼らの登場の横でリーゼントヘアや従来のヤンキースタイルの不良たちは減ってきた。しかし、漫画などではそのスタイルは成立し続け、それは現実とは別世界の文化として成立していた。

2000年代に入り、少子化の影響も加えて暴走族や集団少年犯罪も減り、ヤンキースタイルの若

者も少なくなってきた。その代わりにDQNという存在が登場した。DQNの言葉の由来は「1994年から2002年まで放送されていた番組『目撃！ドキュン』が由来とされる。目撃ドキュンの内容は、離婚などで生き別れの親子が対面などというものであった。そのため、ヤンキーのことを、「15歳で結婚して子供が生まれて、20歳になったら離婚して、40歳になったら目撃ドキュンにでている人たち」という意味でDQNと2ちゃんねるを中心に呼ぶようになった。」(注3)当初は低学歴者に対して使われていたが、後に常識に欠けている人や知識が乏しい人全般を指すようになる。このような人々に昔の暴走族の様に集団内の厳しい規範やファッションなどにも共通したヤンキー文化は見られなくなっていく。

1-3 1章まとめ

以下に、ヤンキーという言葉が時代と共にどのような使われ方や意味を持ってきたか整理しておく。

- ・ヤンキーはもともとワルを指すような意味ではなく、アメリカ兵の遊び着であるヤンキー・ファッションを指していた。
- ・1970年代アメリカのヤンキー・ファッションを真似、遅くまでディスコで踊る若者は素行が悪くみられるようになり、ヤンキー・ファッションの若者(ヤンキーと呼ばれた)に素行のワルっぽいイメージがつくようになる。
- ・1980年代以降イメージが一般に定着し、ヤンキーという言葉が広まる
- ・1990年代以降社会の変化に伴い、恐れられたはみ出し者としてのヤンキーは時代遅れで頭の悪いはみ出し者という位置に変わってきた。

注釈

注1 日本俗語辞書 <http://zokugo-dict.com/36ya/yankii.htm>

注2 『ヤンキーマンガガイドブック 文科系のためのヤンキーマンガ入門』

企画・編集 稲田豊史 2014年(DU BOOKS)

注3 Wikipedia

2章 現代風ヤンキーの登場

1章ではアメリカのファッションがヤンキーと呼ばれていたことから、そのようなファッションを真似た若者がヤンキーと呼ばれ、次第に不良のイメージがつけられ、時代と共に「ダサイ」ものとして受け入れられるようになったことをまとめた。

では、ダサイ存在となってしまったヤンキーは今どうしているのか。2章ではヤンキーの特徴を残す現代のヤンキー像を紹介する。

2-1 マイルドヤンキーの登場

現在、かつてヤンキーと呼ばれてきたようなリーゼントヘアや学生服を極端に着崩したような見た目、ヤンキーマンガの登場人物たちの様にケンカに明け暮れている若者はほとんどいない。「人口比で見た検挙人員も2004年から毎年低下し、2012年では、最も人口比の多かった1981年の半分以下になっています」(注1)ということからも若者の暴走行為や犯罪も減っているということがわかる。これを見るとヤンキーは減ってきたかのように思える。

しかし、近年になって新たなヤンキー像が生まれた。それは「マイルドヤンキー」という存在である。マイルドヤンキーとはマーケティングアナリストの原田曜平氏が2014年に定義した概念であり、特定の趣味・趣向パターンを持つ、不良少女を指していたかつてのヤンキーよりももっと親しみやすくなった存在のことをいう。

マイルドヤンキーが生まれた背景には2000年代後半の世界的な不景気と関係がある。モノは売れず、いい大学に入れてもいい仕事につけるわけではない。安い給料で仕事の激務に追われ、いつリストラされるかわからない。そんな大人たちを見て、上京志向のない若者や反骨精神の薄い若者は生まれた。それがマイルドヤンキーである。「若者の3分の1くらいはマイルドヤンキー」(注2)ではないかと言われており、その数は少なくはない。

2-2 マイルドヤンキーとは何か

具体的にマイルドヤンキーとはどんな存在なの

か。実際にマイルドヤンキー層に密着取材や聞き込みをした原田曜平の『ヤンキー経済』（2014年 幻冬舎新書）を参考にマイルドヤンキーの特徴について挙げていきたい。

○ライフスタイル

マイルドヤンキーは地元での生活を好み、その行動範囲も「半径5km以内」と言われている。しかしこれは数々の名産があるから、歴史的に魅力があるからと言った意味の「地元」が好きという訳ではないようだ。「彼らの多くは、郷土としての地元が好きなのでは決してありません。地元の友達が好きだったり、地元友達と駅前のファミレスやカラオケに行くことや、休日はイオンなどの大型ショッピングモールで一緒に買い物をするのが好きといった、中学時代と地続きの「居心地の良い」生活をキープしたいだけなのです。」（注3）また、原田は彼らにとってのこの地元を、どこの土地でも置き換え可能なカタカナの「ジモト愛」と名付けても良い感覚を強めていると考えている。

このように彼らにとっての地元は昔からの付き合いのある友人がいてこそ成立するものである。そのため彼らは友人や仲間、また、身近で支えてくれる家族を大切に、「友情」「絆」「愛」といった言葉が好きである。年を重ねても変わらない友達、ライフスタイル、「居心地の良い生活」を彼らは求め、近所のショッピングモールや娯楽施設で仲間たちと過ごす「ジモト」での生活を好む。

○消費傾向

マイルドヤンキーはたばこやお酒、ギャンブルなどに費やす消費が比較的多い。これはヤンキーにも見られた特徴である。マイルドヤンキーは「一般的な若者たちよりヤンキー性を持ち、メンツや見栄という感覚を残しているため、そうした感覚も消費を後押ししています。つまり、『メンツによる消費』、今風に言えば、『悪羅悪羅消費』がまだ残っているのです。」（注4）彼らの中には地元で親と共に生活している人も少なくないため、自分で自由に使えるお金が比較的多いと考えられる。そのため、仲間たちとの交際費や、車の改造などの趣味などにお金を使う人が多い。

○ファッション

ファッションは様々であるが、ヤンキー性を多く残している人にはEXILEのような「オラオラ系ファッション」が好まれる。「オラオラ系ファッション」とは黒のブランド系ジャージや全身モノトーンカラーの着こなしで、ハイブランドの小物使いをしていたり高圧的なファッションのことをいう。またオラオラ系アイテムとしてはマッチョな体つき、刺青、日焼けした肌、ゴールド、シルバーアクセサリーなどがある。

○音楽

音楽は男女ともにEXILEやその弟分の三代目J Soul Brothersや妹分のE-girlsを好む人が多い。EXILEの日焼けした肌や「オラオラ系ファッション」やメンバー同士が仲が良く、みんなで集まって過ごす姿、仲間や家族を大切にする歌詞や言動はヤンキー性を持ちながら、マイルドヤンキーの地元志向な考え方によくあっている。そうしたところからEXILEはマイルドヤンキーに合った性質を持ち支持されている。また、女性には西野カナや安室奈美恵、浜崎あゆみなどのアーティストが好まれている。西野カナは若い世代に人気があり、そのストレートな女の子の気持ちを歌ったラブソングやほとんど日本語でわかりやすい歌詞が受けている。安室奈美恵、浜崎あゆみは逆境にも負けずに自分の力で成功していく姿を自らの人生や歌詞で示し、支持を集めている。またファッションが憧れとなることも多い。

○趣味

マイルドヤンキーたちはアニメ鑑賞を趣味として挙げる人が多く、キャラクターものを好む人が多い。2000年代後半から無料視聴メディアも増え、地方で娯楽施設などがなくても、ネットで気軽に動画を見て時間をつぶせるようになった。最近パチスロ台にマンガやアニメとのタイアップ機も増えているためそこからアニメに興味を持つマイルドヤンキーもいる。

2-3 ヤンキーとの違い

かつてのヤンキーは派手な服に身を包み、力を誇示するような改造バイクや車に乗っていか

り目立つ存在であった。また、ケンカや暴走行為をする姿は一般人には近寄りたく、社会からはみ出した存在という認識が強かった。しかし、現代のマイルドヤンキーたちの容姿はとびぬけて目立つわけでもなく、車も仲間と乗るのに快適なミニバンを好む傾向がある。また、ケンカで自分の力を誇示しようというわけでもなく、暴走行為などを行う人も少なく、周りに迷惑をかけるような行動をしているわけでもない。マイルドヤンキーは日常生活の中に自然になじんでいるといえる。

また、かつて成り上がり、上昇志向が強く見られたヤンキーであったが、マイルドヤンキーにそのような傾向はみられない。どちらかといえば自分の生活圏内でなじみの仲間たちと身の丈に合った生活を楽しむという現実志向の人が多い。かつての社会や周りの環境に満足せず、もっと高みを目指そうと目立っていたヤンキーとは違い、マイルドヤンキーはある程度現状を受け入れ、その中で彼らなりに充実した生活を送っている。

2-4 マイルドヤンキー指標

今までの事を踏まえて、マイルドヤンキーの特徴について箇条書きでまとめておく。

1. 地元で家族や友達と過ごす生活が好き
2. 「友情」「絆」「家族」などの言葉が好き
3. 行動範囲が半径5km以内で済む
4. 酒、たばこ、ギャンブルでの消費が比較的多い
5. オラオラ系の服装を好む
6. ブランドものが好き
7. EXILEが好き
8. 逆境にめげず立ち向かうアーティストの生い立ちに惹かれる
9. 友情、絆、家族をテーマにした歌詞が好き
10. アニメやキャラクターグッズが好き
11. 上京志向が薄い

2-5 2章まとめ

以下に、現代の新しいヤンキー像「マイルドヤンキー」についてのまとめを整理しておく。

・ヤンキーの悪っぽさを受け継ぎながらも、現代



80年代ヤンキーのイメージ



マイルドヤンキーイメージ

(イラスト:「榎本よしたか雑記帳」TBSテレビ「あさチャン!」掲載) <http://yoshitakaworks.blog103.fc2.com/>

に受け入れられる形でのヤンキーさを持ち穏やかに暮らしているマイルドヤンキーという層の出現。

- ・マイルドヤンキーのいくつかの特徴はヤンキーの見栄やバッドテイスト、仲間意識を受け継いだ「オラオラ系ファッション」、たばこやお酒、ギャンブルへの消費傾向の多さ、仲間意識などを引き継いだものがある。
- ・不況の続く社会の影響を受けて育ったマイルドヤンキーたちは現実志向が強く、生活のしやすさなども考え親や友人の多い地元での安定した暮らしを好むことから地元志向が強くなっている。

注釈

注1 『ヤンキー経済』原田曜平 2014年 幻冬舎新書 p.19

注2 NHKニュースおはよう日本 2014年5月12日月曜日

<http://www.nhk.or.jp/ohayou/marugoto/2014/05/0512.html>

注3 原田曜平 2014年 p. 41

注4 原田曜平 2014年 p. 98

3章 EXILEの活動における マイルドヤンキー戦略

2章では現代の現実志向でうまく社会に対応して優しくなったマイルドヤンキーを紹介した。ではEXILEの現在の人気はマイルドヤンキー層に支えられているのだろうか。3章ではEXILEの世界観を作り出しているイメージやアイテムをとりあげ、それがマイルドヤンキーとどのように関わりがあるのかまとめていく。

3-1 EXILEとは

EXILEは2001年にデビューしたダンスボーカルユニットである。当時はボーカル2人、パフォーマー4人の6人組であったが、ボーカル1人の脱退をきっかけに、その後3度の大幅なグループ構成の変更が行われ、2015年現在ではパフォーマーを引退したリーダーHIROを加え、メンバーは19人である。また、初期からのメンバーである松本利夫、USA、MAKIDAIも2015年まででパフォーマーを引退することを発表している。

以下簡単にEXILEの歴史をまとめる。(1999年～2015年)

- 1999年 パフォーマーHIRO、MATSU、USA、MAKIDAIにボーカル1人を加えたEXILEの前進となる5人組「J soul brothers」が誕生する。
- 2001年 前ボーカル脱退に伴い、新たなボーカルATSUSHIとSHUNが加入し、6人組の「EXILE」が誕生する。
- 2006年 ボーカルSHUNが脱退。パフォーマーのAKIRAを新たに加入させ、新ボーカルを決める「EXILE VOCAL BATTLE AUDITION 2006 ～ASIAN DREAM～」を開催。オーディションを勝ち抜いたTAKAHIROが新ボーカルとして

加入。新たに7人体制となったEXILEはEXILE第二章を迎える。

- 2007年 第二章初のライブツアーが始まる。このツアーの東京での追加公演では、お笑いコンビ「ナインティナイン」の岡村隆史が番組の企画でゲスト参加し「OKAXILE」としてファンや視聴者に親しまれるようになる。(その後度々番組での共演が見られる)
- 2009年 後輩グループの7人が新たにメンバーに加わり、EXILEは14人体制となり第三章を迎える。
- 2014年 「第64回紅白歌合戦」を最後にHIROがパフォーマーを引退。
新たなパフォーマーを募集する「EXILE PERFORMER BATTLE AUDITION」で勝ち抜いた5人が加入する。EXILEは19人体制となりEXILE第3章が始まる。
- 2015年 オリジナルメンバーの松本利夫、USA、MAKIDAIが年内でパフォーマーを引退することを発表。

3-2 ファンを惹きつけるEXILEの戦略

①仲間や家族を大切にしているイメージの定着

EXILEはメンバー同士仲が良く、家族を大切にしているというイメージがついている。このイメージはEXILEがメディアを通じて、メンバーの誕生日にはみんなでサプライズを仕掛けてお祝いしたり、休日メンバーと遊んだりメンバー同士仲の良いプライベートを度々語っていることなどからついたものだと考えられる。また、ファンクラブを「EX FAMILY」と名付け、ファンを家族と呼んだり、ライブにメンバーの家族を呼んだりと親孝行な一面を見せることから「家族思い」というイメージも強い。「ラグビー日本代表もそうだが、自分だけでなく仲間を助け、チームに最高の結果をもたらす。こうしたチームの一体感は、日本人から愛されるための大きな要素だ。」(注1)これはEXILEというグループにも通じるものである。メンバー同士の深い信頼で結び付き、互いへの尊敬を忘れない、家族としてファンと一体になるEXILEのグループの姿は支持される要

素の一つと考えられる。

②怖い見た目に反した優しさ

人はギャップに惹かれる。EXILEはそのギャップをうまく武器にしている。EXILEの見た目はイカつく怖そうな印象である。しかし、メディア上で語られるストイックに歌やダンスに打ち込む姿や仲間や家族を大切に作る姿、徹底された挨拶をみると本当はまじめで誠実そうだという印象を受ける。この「怖そうだけど本当はいい人」というギャップは沢山の人にうける。EXILEはそのギャップをうまく活用していると言える。

③グループの編成をショーとして提供

EXILEはメンバーの引退などをきっかけに何度かグループの形を変えてきた。そして新メンバーを選ぶオーディションをテレビ番組で公開したり、メンバーが実際に足を運んで審査したり特殊なオーディションをしている。新メンバーの加入でさえメンバー総出で1つのイベントにしてしまうところがEXILE流のエンターテインメントの形である。「アーティストやタレントが長く活躍するためには、アクティブなイメージを作り出さないといけないのが今のエンターテインメント業界なのだ。新たなメンバーを選ぶオーディションはその手法の一つと言える。」(注2) 流行の入れ替わりが激しい今日、いつまでも変わらない姿で支持され続けるアーティストは少ない。そうした中で引退や加入、派生グループの立ち上げなど話題を常に提供し、変わり続けるEXILEの戦略は業界で強く生き残るためのポイントを押さえている。

具体的に同じようにメンバーの入れ替わりの激しいAKB48とグループ編成方法の違いを比べながらEXILEの特殊なやり方を紹介したい。「AKBのオーディションは、スタッフと総合プロデューサーである秋元康氏によって行われている。一方、EXILEのオーディションは、現役メンバーも審査員として加わる。」(注3) AKB48のメンバーは上役に決められたメンバーを迎え入れるだけでよい。しかし、EXILEのメンバーは自分たちと一緒に活動していくメンバーを自分たちで決めていかななくてはならない。その上でグループの事を

考え、チーム内での役割や互いに切磋琢磨し、グループを活気づける人材を考えて選出することが求められている。また、その様子を朝のテレビ番組に取り挙げて放送してもらうことで、新規ファンの獲得やファンが新メンバーを受け入れやすくなるような環境づくりを狙いとしていることも考えられる。

④常にチャート上位につけるビジネス戦略

アーティストにとって音楽活動で功績を見せることはもっとも重要である。EXILEはCDを出せば常にチャートに入ってくる。しかし、EXILEの近年リリースしたアルバムには今までの楽曲を盛り込んだ作品が多い。ファンにとってはおなじみの曲が入れ直されたものであるがこのようなアルバムもリリースするたびにチャート上位にランクインしている。ここにEXILEのCDの売り方の手法を見ることが出来る。なぜ同じ曲の入ったCDが売れるのか。まず、弟分の三代目J Soul Brothersなどを活用していることが挙げられる。既存の楽曲を弟分やグループを超えた組み合わせで歌い直したものを収録したアルバムを発表していることからどちらのファンに対してもアプローチしており、それだけの購入が期待できる。ここでしか聞けない組み合わせとなるとファンは手に入れたくなるだろう。

また、ライブと連動したアルバムの発表が挙げられる。ライブと連動したものであればCDを聞いて予習をしてライブに参加する人も多い。既存の楽曲の詰め合わせであっても、そのような人たちがアルバムを購入することが考えられる。更に、人数を活かしたおまけ商法も挙げられる。EXILEのCDをファンクラブやモバイルサイトで購入するとメンバーの携帯クリーナーや缶バッジなどのおまけがつけてもらえることが多い。ファンの中にはそれをコレクションしている人も多い。19人もいるメンバーを集めようと思えばそれだけの枚数を買わなくてはならない。このようにして忙しい合間にも新たなCDをリリースし、特典でコアなファンを喜ばせながらビジネスとしてもしっかり稼いでいる。

3-3 マイルドヤンキーに訴求する EXILE の戦略性

以下で2章のマイルドヤンキーの特徴に対して EXILE の戦略や活動のどのような点が当てはまっているのかそれぞれ挙げていく。

①仲間や家族を大切にす

- ・弟分を「EXILE TRIBE」として引き込み、つながりの強い組織を形成。
- ・ファンクラブを「EX FAMILY」と名付けファンを家族と呼ぶ。
- ・飲み会の話などメンバー同士の仲の良さがうかがえるエピソードを多数紹介する。

②怖い見た目と優しさのギャップ

- ・甘い歌声でのバラード。
- ・普段からのトレーニングやライブの入念なりハーサルの積み重ねから見せるストイックな部分。
- ・ボーカル ATSUSHI の書く愛や平和をテーマにした歌詞。
- ・幅広い年代で構成され徹底された上下関係。
- ・イベント事には家族や仲間へのサプライズをマメに行う姿。

③ルールによるファンの統率

- ・ライブ時での暗黙のルールの存在。(ATSUSHI が歌をためるときに、ATSUSHI の名前を呼んではいけない。屋内のライブの時はペンライトでの応援は禁止。うちわでの応援も禁止。ボードでの応援も禁止。など) (注4)。
- ・ライブの応援に用いられる公式のフラッグの存在。

④強さを強調する演出

- ・ライオン、鷹などをイメージキャラクターにしたツアーロゴやセット。
- ・MV でのバイクや車の使用。
- ・MV に登場する喫煙シーン、飲酒シーン。
- ・MV での甲冑やヒーローに扮した衣装や世界観。

⑤オラオラファッション

- ・衣装での黒系のスーツの着用率が高い。

- ・自社ブランドのジャージの衣装。
- ・ゴールドやシルバー系のアクセサリを着用している。
- ・サングラスや刺青などの強面アイテムを取り入れている。

⑥逆境にもめげず自分らしさや仲間や相手を思い続ける一途な男性性、ぎらつく男っぽさなどを歌ったライブ定番楽曲

- ・「24karats」シリーズでの輝く世界観、自分を磨き鼓舞するストイックな男性像の表現。
- ・ライブ定番バラードに共通した失恋の逆境や相手を一途に思い続ける男性像の表現。
- ・周りへの思いを大切にしながら前進していく姿を表現。

(以下歌詞の一部抜粋)

24karats GOLD SOUL / EXILE

- ・圧倒的な純度で競う
- ・憂き身との戦いは 己の心との対話
- ・高く上に掲げるは 24karats
- ・この胸に刻んだ黄金の魂
- ・混じり気ないこの血が流れる 24karats

VICTORY

- ・愛・希望・未来すべてを感じて走り出す
- ・いくつもの“想い”握りしめて

Someday

- ・変わらないこの思いだけを 信じて…
- ・このまま終われない 何か突き動かすんだ
それはきつと魂を残す 道しるべ
- ・あなたがずっとあなたらしく 生き続けられるように
- ・変わらない思い抱きしめながら 歌ってくよ

3-4 3章まとめ

以下に、EXILE のイメージ戦略とマイルドヤンキーの特徴に当てはまる点を整理しておく。

- ・EXILE の仲間思い、怖い見た目と反したイメージはマイルドヤンキー以外にも広く支持を得る

アーティストのイメージ戦略とファンにおけるその受容 —EXILEが支えるヤンキー文化のマイルド化—

要素を持っている。

- ・ EXILE のオーディションをファンへのショーとして提供したり、弟分を巻き込んだ活動はビジネスで利益をあげるポイントでもある。
- ・ EXILE はマイルドヤンキーの趣向に当てはまるファッションや世界観、イメージを打ち出す演出や具体的なアイテムも取り入れて活動を行っている。

注釈

注1 「NEVER まとめ」 <http://matome.naver.jp/odai/2134183682997432101>

EXILE ファンの『EXILE のライブに関する暗黙のルール』まとめ

第4章 EXILE ファンにみる マイルドヤンキー性

前章まで EXILE と関係が深いとされるヤンキー文化の歴史と、近年現れたマイルドヤンキーについてまとめてきた。そして EXILE はマイルドヤンキーに受ける要素を取り込み、その世界観を作り出しているということがわかった。ここからは実際に EXILE のファンはどのような人たちで、EXILE の活動やスタイルをどのように受け止めているのか探っていきたい。

4-1 ファンインタビュー

前章でマイルドヤンキーは EXILE が好き、また EXILE もマイルドヤンキー性を持ったグループであるということがわかった。ここからは実際に EXILE のファンの趣味や趣向、ライフスタイルからマイルドヤンキー性をみていきたい。

1. EXILE ファンへのインタビュー

・調査目的

前章でのマイルドヤンキーの特徴をもとに、マイルドヤンキーの特徴に沿った内容のインタビューを行う。そこから実際のファンはどのような趣味・趣向を持ち、マイルドヤンキーにみられるどのような特徴をどのくらい持っている

か調べる。また、EXILE に関しての質問も聞き、EXILE の活動にどのようなことを感じているのかを調べる。

・調査対象

EXILE ファンであるという男女それぞれ2名ずつ。

以下に対象者のプロフィールを紹介しておく。

	①	②	③	④
	TSさん	SYさん	KHさん	TAさん
性別	男性	男性	女性	女性
年齢	21歳	23歳	21歳	23歳
出身	京都府	京都府	岐阜県	京都府
住居地	京都府	京都府	京都府	京都府
職業	学生	学生	学生	社会人

・対象者の抽出方法

20～25歳までの EXILE のファンであると公言している人の中から男女2名ずつを抽出する。

・調査方法

対面インタビュー。メールで補足調査を行った。

・調査時期

2015年10月から11月。

・インタビュー項目

<ライフスタイルに関するインタビュー>

1. 普段どのような格好をすることが多いですか。
2. 好きなブランドはありますか。また、ブランド商品を利用していますか。
3. 飲酒しますか。また、飲酒する方はどれくらいの頻度で飲酒しますか。
4. 喫煙しますか。される方はどのくらいの頻度で喫煙しますか。
5. ギャンブルをしますか。される方はどのようなものをしていますか。
6. 好きなアーティストや良く聞く歌は何ですか。
7. 大学や仕事がお休みの日はどのようなことをして過ごしますか。
8. 趣味は何かありますか。
9. 生活の上で何か大切にしている心がけや習慣

などがありますか。

10. 最近何か興味のあることはありますか。

＜EXILE への評価インタビュー＞

1. EXILE はあなたの生活の中でどのような役割を果たしていますか。
2. EXILE について違和感を感じることはありますか。
3. EXILE の楽曲についてどのようなことを感じますか。
4. EXILE のライブについて何か思うことはありますか。(世界観やライブ時のルールやマナー、ファンの様子など)
5. ファンを家族と呼ぶことについてどのように思いますか。
6. メンバーの新加入やオーディションについてどう思いますか。
7. グッズについてどう思いますか。(ライブグッズ、アパレル (24karats) など)
8. おまけつきCDの販売についてどう思いますか。
9. どんな点に魅力を感じますか。
10. あなたの周りのEXILEファンの中にマイルドヤンキーに当てはまらない人はいますか。また、自分のことをマイルドヤンキーに当てはまると感じますか。

マイルドヤンキー…地元で友人たちと暮らす生活を好む。家族、仲間、絆という言葉が好き。オラオラ系ファッション。タバコ、酒、ギャンブルへの消費が多め。アニメやキャラクターへの関心が高め。などの特徴を持った人。

4-2 インタビューまとめ

＜ライフスタイルに関するインタビュー＞

なお、4人の各項目に関してマイルドヤンキー志向に当てはまるとされる項目に関してはグレーで色付けしておく。(表1)

インタビューの結果、男性は普段はジャージやスーツを着ているようで見目からマイルドヤンキーの特徴を出している。女性は女性らしい服装を好む人と男性ものを好んで着る人と分かれ、そ

れぞれの好みが表れていた。ブランドには4人中3人はこだわりがあり、世界的に有名なブランドを好み、普段持ち歩くアイテムに取り入れている。お酒を日常的にたしなむのは1人であとの3名は何かのイベントがあるときに付き合いで飲むようだ。たばこは男女1名ずつの2名が喫煙しており、どちらも銘柄はセブンスターである。ギャンブルへの興味は少なく、1名のみパチスロをやるということであった。休みの日の過ごし方に関しては共通して友達とのカラオケが多く、娯楽施設を利用して遊ぶパターンが多い。趣味はこれといったマイルドヤンキー性を持つ回答はなく各々の趣味であった。

生活するうえで大切にしていることでは「友達を大事にする」「彼女を大切にしたい」という発言や「周りに迷惑をかけず楽しく遊んでいけたらいい」という発言が友達や家庭を大切にするマイルドヤンキー的な発言として挙げるができる。雑談の中で女性二人ともが車やバイクなどの男性的なものに興味を持っていることは意外であった。10個の質問中マイルドヤンキーの特徴に当てはまる発言と判断したものは、①さんは7個、②さんは6個、③さんは3個、④さんは5個であった。4人のうち最も個数が少なかった③さんのプロフィールをみると彼女だけ県外から京都に移り住んでおり、地元こだわりのマイルドヤンキー性を持ち合わせていないことが大きく影響しているのかもしれない。発言でも一人で積極的に外出したり、留学をしたりとかなりアクティブに動いている様子がかがえる。他の3人は10個中5個以上が当てはまっており、特徴の組み合わせは様々であるがマイルドヤンキーの要素を十分に持っていると言えそうだ。

＜EXILE への評価インタビュー＞ (表2)

ファンにとってEXILEの役割は、楽曲で雰囲気を作り上げたり、メッセージを与えたり、見た目や生き方からファンを成長させたりそれぞれにとって様々な役割を果たしていた。グループに違和感を感じている人はメンバーの老化に伴いパフォーマンスの質が落ちてしまった、また、TVで見る姿と全く変わらない姿とCDと同じくらしいライブでの歌声に逆に違和感を感じたというこ

アーティストのイメージ戦略とファンにおけるその受容 —EXILEが支えるヤンキー文化のマイルド化—

表 1. ライフスタイルに関するインタビュー

	① TS さん 男性 21 歳 京都府出身 京都府在住	② SY さん 男性 23 歳 京都府出身 京都府在住	③ KH さん 女性 21 歳 岐阜県出身 京都府在住	④ TA さん 女性 23 歳 京都府出身 京都府在住
1 普段の格好	カジュアル系。 大学に行くだけの日は ジャージが多い。	基本的にスーツに近い感 じ。 ジャケット。無地しか着 ない。	南国系の服。海外の女性 のファッションを参考に する。	ジーパン。あとは男っば い服装が好き。男性もの を使用することも。一目 ぼれしたものを買う。
2. 好きなブランド	コーチ。ラコステ。 コーチの財布とアルマー ニの時計を愛用中。	ヴィトン。財布、カバン、 キーケースを愛用。寅壺 の作業着。ジースターロー のジーパン。ユニバーサ ルジュネーブの時計。	アンティークガール。ロー リーズファーム。財布は コーチを愛用。 ジルスチュアートの化粧 品が好き。	特にない。買い物は実際 に足を運んで一目ぼれし たものを買う。しいて言 えばメガネをメガネ市場 で買うくらい。
3. 飲酒するか	飲む。週 2 回程度。 集まりやイベントごとで 飲むことが多い。	あまり飲まない。月 1 程 度。 社会的にお酒は必要なイ メージな為、その思いが 強くなったら。	する。週 2 ぐらい。 和酒が好き。(焼酎、日本 酒、梅酒など) ビール、 ワインも。家で飲むこと が多い。ご飯と一緒に。	する。飲み会やイベント 事で。日本酒や芋焼酎が 好き。周りからはお酒に 強いとよく言われる。
4. 喫煙するか	しない。	する。1 日 10 本程度。セ ブンスターが好き。20 歳 のころから吸っている。	しない。一度留学先の中 国で吸ったことがある が煙が苦すぎて無理だと 思った。	する。親は知らないから 外に出た時だけ。1 日 10 本以上吸う。銘柄はセブ ンスター。
5. ギャンブルするか	スロットをする。週に 2 〜 3 回。	しない。	しない。	したことない。興味はあ るが必要なことではない。
6. 好きなアーティスト	EXILE。EXILE ATSUSHI。 つるの剛士。 今はアップテンポなのが 好き。	EXILE。 他にはいない。 バラードのほうが好き。	三代目 JSB。加藤ミリヤ。 清水翔太。ワイルドスピ ードの音楽やレゲエ、ラッ プ系も好き。	EXILE。最近ハマってい るのは AAA。つるの剛士、 コブクロ、徳永英明、平 井堅など男性アーティ ストがほとんど。
7. 休みの日の過ごし方	彼女や友達と遊ぶ。ボウ リングやカラオケ、ビリ ヤード。あとは飲みに行っ たり。	友達と遊ぶ。行った事が ない所に出かけたり、カ ラオケをする。自分の仕 事だと思っていることを する (勉強・バイト)	映画鑑賞。月 1 で一人 で映画を観に行く。買 物に行ったり好きなカ フェに行ったり。	友人とカラオケに行く ことが多い。予定が合わ なかったら両親が共働 きだから家事をしている。
8. 趣味	特技は野球。スポーツ全 般特異なほうだと思う。	特になし。	ダンス。料理。裁縫。音 楽鑑賞。動画鑑賞。ドラ イブ。旅行も好き。	カラオケ。周りに気に せず歌えるし、大声が 出せて設備が整っている。
9. 生活の上で大切に している心がけ。習慣など。	友達を大事にする。彼女 を幸せにしたい。	英語学習の持続。自分 という人間を戒める。	1 日 1 回は体を動かす。 部活や大学で嫌なことが 重なる時期がある。そう すると生活が楽しくな るので一度休みを取る。	人に迷惑はかけずに行 きたい。楽しく遊んでい けたらいいかな。何も ないよりその方が楽しい から。
10. 最近興味のあること	特になし。	さまざまなことに興味 がある。世の中に存在 するもの…森羅万象? (笑)	英語。LDH 系統のダン スの完コピ。がんちゃん のクラブを見てダンス の勉強をする。	特になし。
5. その他	ゲームセンターでバ イトをしている。	英語の先生のバ イトをしている。 好きな言葉は人情。	和食屋さんでバ イトをしている。 ダンス部 車が好き。いじたり するのも興味がある。	スーパーで働いて いる。免許は持 っていない。 バイクに乗り たい。好きな 言葉は「歌」

表 2. EXILE への評価インタビュー

	① TS さん 男性 21 歳 京都府出身 京都府在住 ファン歴 5 年	② SY さん 男性 23 歳 京都府出身 京都府在住 ファン歴 4 年	③ KH さん 女性 21 歳 岐阜県出身 京都府在住 ファン歴 8 年	④ TA さん 女性 23 歳 京都府出身 京都府在住 ファン歴 8 年
1. あなたの中での EXILE の役割	盛り上げてくれる。移動中に聞いて覚えてカラオケのレパートリーを増やせる。	成長。男らしくて男のあり方を表してくれている。	ダンスとわくわく感。	いろんなものを提供してくれる存在。夢とか希望とか、諦めるなどか。
2. 違和感を感じること	特になし。	違和感を感じないことに違和感がある。ライブでも CD と同じように歌ってた。それだけプロフェッショナルってこと。TV と変わらないから親近感が湧いた。	メンバーが年を取るにつれてダンスについていけない人が出てきたとき。	特になし。
3. 楽曲について	バラードが良い。最近はアップテンポでダンスもかっこいい。途中で「フー」「イエー」とか良く入れてくる(笑)	失恋ソングが多い。愛とかラブとかいう言葉を良く使ってる気がする。MV には本人たちが出過ぎ。	バラードは女性目線のものが多い気がする。	歌詞が良い。バラードがきれいで好き。ラブソングが多い。
4. ライブに関して思うこと	チケットが高い。豪華で演出は良い。英語の演出が多いけどよくわからない。	こなれた感じでやってる。これやれば盛り上がるでしょって感じで。演出もこなれたる感じ。どうせなら大きな変化を入れてほしい。	ダンスや歌ではなく顔だけ見に来るファンが増えている。バラードの時に名前叫んだり…。EXILETRIBE 総出演とかあるので得した気分になる。	行ったことがないからよくわからない。チケットが高い。DVD で見た限りでは迫力がある。
5. ファンを家族と呼ぶことについて	本当は思っていないやろ(笑)。	ファミリーといっても上等文句。家族っていうくらいなら一人ひとりの家を周ってほしい。4 年に 1 回とかでいいし。あれだけ人数いるんやし(笑)	ファンからしたらすごうれい。ライブ裏でファンからのプレゼントをメンバーが喜んでいる姿を見るとファンもうれしくなる。	ホントはどうかわからないけどそう思ってくれるのは嬉しい。
6. 新メンバーやオーディションについて	オーディションの様子を見ると応援したくなるしいい。でもやらせとかありそう。顔で決まってるとか。人数が増えて迫力が出た。	いやな手段。TV で放送して観る人に俺でもなれるって希望を持たせるのもなんかね…。人気があるからこそそれがエンタテインメントになるのかもしれないけど。章を重ねることで物語に終わりが来ることを教えてくれる。	3 章までは良かった。それ以降は残念。ちょっと多い。オーディションは観客も入れてくれるのでそこはいい。	はじめは戸惑ったけど、迫力が出てこれはこれでいいかなって思う。オーディションから見てたら応援したくなるかも。
7. グッズについて	色々高い。ガチャガチャ 500 円とかぼったくり。T シャツとかはかっこよかったけど。	グッズは絶対買わない。結局金やし。ファンのためのグッズなら限界まで値段を下げるべき。	24karats のジャージをもっと安くしてほしい。	買うのは CD と DVD のみで良くわからない。買う機会もない。
8. おまけつき CD について	CD 買わないからわからないが AKB みたい。	人間めんなよ(笑) ハイタッチ券とか家族とタッチしてもうれしくないよね	ファンクラブ会員にほとんどとられてしまう。	AKB みたいにはなってほしいくない。アーティストとして歌で勝負してほしい。
9. 魅力に思うこと	皆男前で面白い。怖そうなのに知的な人が多い。メンバー同士仲が良くて歌も盛り上がる。	怖さとかっこ良さ。バックダンサーがバックダンサーにしか見えないところ。EXILE の見た目こそ本当の男のこっこよさな気がする。	ストイックで面白い所。ダンスがシンクロしているところ。個性があって何をやっても楽しそうで営業感がない。	歌とダンスが良い。メンバー全員の仲が良い所。かっこいい。尊敬できる。
10. 周りのファンにマイルドヤンキーに当てはまらない人はいるか。自分はどうか	いると思うけど、みんないくつか当てはまっているかも。自分はどうですか	いる。当てはまらない。要素は持っているかもしれないけど自覚はない。	沢山いる。当てはまらない。	いない。ファンの友人が少ないからかもしれないけどいない。当てはまらない。

とであった。アーティストとしての技術面に違和感を抱いているようだ。楽曲に関してはバラードの印象が強い様で、4人ともバラードの良さや失恋ソングの多さ、女性目線の歌詞などの特徴があると挙げてくれた。ライブに関してはチケットが高い、こなれた感じのパフォーマンス、顔ファンが増えた、など運営、パフォーマンス、ファンなど様々な面に皆不満を感じているようである。しかし演出には迫力を感じ満足しているという答えが多かった。ファンを家族と呼ぶことに関しては全体的に一歩引いた目で見ているようだが特に男性には戦略の一つという風に見ている。女性は真偽に関わらず、嬉しく思うという回答が得られた。

オーディションに関してはその様子をTV番組で放送することに肯定的な意見が多かったが、男性にはやらせ疑惑を持っている人もいる。人数が増えたことに関しては迫力が出たという人と多くなりすぎているという人とそれぞれ思うところはあるようだ。グッズに関しては今回の回答者には興味の薄い人が多かったが、値段が高いという意見が多かった。ここでも男性の方がビジネス面を意識している発言が多く冷ややかである。おまけつきCDに関しては全体的に否定的であるがファンクラブ中心の販売方法であり、皆に公平に機会がないことに不満を感じている人もいた。

魅力に感じていることでは、男性はビジュアル面に魅力を感じる傾向が強く、同じ男性としてかっこ良さを評価しており、EXILEに憧れ意識のようなものも感じられる。女性にはビジュアルを意識した発言は少なく、技術的な面や性格的な所に魅力を感じているようだ。また、男性に比べ、顔ファンへの不満やアイドルの様に思われてほしくないという周囲からの目を気にした発言があり、あくまでもアーティストとしてのEXILEを評価している。それと比べ、男性は他の人がどう評価しているかということに興味はないようでアーティストと1対1の関係で思うようなところを客観的に述べている。周りのファンに関してはマイルドヤンキーに当てはまらないファンがいると答えた人が多く、自分も違うという声が多かった。全体的に楽曲やパフォーマンスに関しての不満はないが運営側に関しては不満が多いようだ。

■マイルドヤンキー指標とEXILEの評価

① TSさん 21歳 男性

京都出身京都在住 ファン歴5年

<当てはまるマイルドヤンキー指標>

10個中7個

- ・ファッション → ジャージ系オラオラファッション
- ・ブランドへの興味 → 好きなブランドあり。所持。
- ・飲酒 → 週に2.3回
- ・ギャンブル → スロット週に2.3回
- ・好きなアーティスト → EXILE
- ・休みの日の過ごし方 → 彼女や友人とカラオケ、ボウリング、呑みなど
- ・生活の上で何か大切にしている心がけや習慣 → 友達を大事にする。彼女を幸せにしたい。

<EXILE への評価>

グループや楽曲の雰囲気を楽しみビジネスには厳しい評価

- ・楽曲やそれに伴う雰囲気を受けている。
- ・ビジュアル面とグループの仲の良さに魅力を感じる。
- ・グッズ販売、オーディションなどの演出面、イメージ面にEXILEの商業目的やビジネス戦略を感じて冷ややかに見ている。
- ・マイルドヤンキーの自覚あり。

② SYさん 23歳 男性

京都出身京都在住 ファン歴4年

<当てはまるマイルドヤンキー指標>

10個中6個

- ・ファッション → スーツ系オラオラファッション。
- ・ブランドへの興味 → 好きなブランドあり。所持。
- ・喫煙 → 1日10本程度。セブンスター。
- ・好きなアーティスト → EXILE
- ・休みの日の過ごし方 → 友人とカラオケ。
- ・生活の上で何か大切にしている心がけや習慣

→自分を戒める。

< EXILE への評価 >

男性としての EXILE 像に影響を受けビジネス面には厳しい評価

- ・男性としての在り方、生き方に影響を受けている。
- ・ビジュアル面に魅力を感じる。
- ・グッズ販売、オーディション、イメージ作りなど楽曲以外にはビジネスであることを考慮し冷ややかな反応。
- ・マイルドヤンキーの自覚なし。

③ KH さん 21 歳 女性

岐阜県出身京都府在住 ファン歴 8 年

< 当てはまるマイルドヤンキー指標 >

10 個中 3 個

- ・ブランドへの興味 →好きなブランドあり。所持。
- ・飲酒→週に 2 回。和酒を好み、食事と共に。
- ・好きなアーティスト→三代目 J Soul Brothers

< EXILE への評価 >

- ・パフォーマンス面、グループの雰囲気への評価が高い。
- ・ダンスや昂揚感を受けている。
- ・ダンスなどの技術面、グループの仲の良さに魅力を感じている。
- ・運営や他のファンへの不満がある。
- ・マイルドヤンキーの自覚なし。

④ TA さん 23 歳 女性

京都出身京都在住 ファン歴 8 年

< 当てはまるマイルドヤンキー指標 >

10 個中 5 個

- ・飲酒→お酒に強いとよく言われる。
- ・喫煙→1 日 10 本。セブンスター。
- ・好きなアーティスト→EXILE
- ・休みの日の過ごし方 →友人とカラオケ。
- ・生活の上で何か大切にしている心がけや習慣 →人に迷惑かけず楽しく遊んでいきたい。

< EXILE への評価 >

内面的な影響が強く、運営に対する不満はある

- ・楽曲や活動から夢や希望、諦めるなどというメッセージを受け取っている。
- ・歌、ダンスなどの技術面、メンバーの性格に魅力を感じている。
- ・チケットの値段に対しての不満。
- ・マイルドヤンキーの自覚なし。

4-3 4 章まとめ

以下に、EXILE のファンの趣向と EXILE に対する評価についてのまとめを整理しておく。

- ・EXILE のファンの構成は未検証であるが、今回のファン 4 人では例外もあったがマイルドヤンキーの特徴を半分以上持ち合わせた人が 3 人という結果で条件的にマイルドヤンキーであると判断できる人が多かった。
- ・ファンは EXILE がマイルドヤンキー風でマイルドヤンキーに好かれるという考えはない。また、条件的には当てはまるが自分に対してマイルドヤンキーであると判断する人は少なかった。
- ・ファンは EXILE の音楽やパフォーマンスのみを生活の中で取り入れている様子が強いが、人によっては見た目や活動に打ち込む姿勢など精神的な面に影響を受けている人もいる。特に男性はビジュアル面、女性はパフォーマンス面に魅力を感じる傾向がある。
- ・ファンは EXILE のパフォーマンス面での評価は高いが運営面での評価は全体的に低い。

おわりに

EXILE を好むと言われるヤンキーは現在マイルドヤンキーという新たな存在へと変化し現代の若者の 3 分の 1 をも占めると言われるほどの大きな存在となっている。そして EXILE の方も一般ウケするイメージ戦略を取り入れながらも、マイルドヤンキーの好みに当てはまるような具体的なファッション、アイテム、世界観を取り入れていることがわかった。EXILE の今日の人気がこの

マイルドヤンキー層に支えられているのだとしたら、今の社会でのマイルドヤンキーのポジションは大きなものかもしれない。しかし今回の検証では定量調査を行ってファンの量的構成にせまることは出来なかった。しかし、EXILE ファンの4人にインタビューを行ったことから、EXILE ファンはマイルドヤンキーの特徴をいくつか持ち合わせた人が多く条件的にはマイルドヤンキーに当てはまる人が多かった。もちろん、これに当てはまらない人もおり、本人たちにマイルドヤンキーという自覚は薄い。EXILE に関してヤンキーらしさを感じていない様子が伺えた。

私は今回の調査から EXILE が時代と共に煙たがられてきたヤンキーらしさやワルっぽさを現代でうけるかっこ良さの一つとして社会に適合させている役割を果たしているのではないかと考えた。そして国民的アーティストである彼らがヤンキー要素を取り入れた独自の世界観や楽曲を提供し、ファンはそれを購入したり、享受することでワルっぽい志向や世界観への憧れを現代社会ではみ出す存在にならない範囲で満たすことができる。そしてファンは EXILE が好きであることを通じてマイルドヤンキー思考を持つ自分を無意識にも表現しているのかもしれない。また、マイルドヤンキーに当てはまらなかった③の女性は女性らしいブランドを好み、趣味などにも目立ったマイルドヤンキー性は感じられず現代のおしゃれな女性という印象である。そのようなヤンキーとは判断しがたい普通の女性までも取り込んでいる点が EXILE の強みではないか。メインターゲットともいえるヤンキーから、普通の人の心までも引き付けるようなイメージ作りや演出をコントロールすることが現在の力強く存在感を放っている EXILE の姿を作り出している。

最後に、今、私は何故 EXILE というグループにのめり込んでいるのか。それは型にはまったいい子的な人柄が評価される現代社会での私のほんの少しの反抗なのかもしれない。心が折れないように、なめられないように、力強く生きられるように EXILE というアーティストをかりた私の生き方を今回の調査を通じて見つめなおせた。

参考文献

- ・『ヤンキー進化論 不良文化はなぜ強い』難波 功士 2009年(光文社)
- ・『ヤンキーマンガガイドブック 文科系のためのヤンキーマンガ入門』企画・編集 稲田豊史 2014年(DU BOOKS)
- ・『ヤンキー経済』原田曜平 2014年(幻冬舎新書)
- ・『ヤンキー文化序説』五十嵐太郎編集(河出書房新社)
- ・「logmi 世界をログする書き起こしメディア」
<http://logmi.jp/90525>
- ・Wikipedia
- ・日本俗語辞書 <http://zokugo-dict.com/36ya/yankii.htm>
- ・「YOMIURI ONLINE 深読みチャンネル」EXILEのビジネス戦略、ダンス教室から焼き鳥屋まで
http://www.yomiuri.co.jp/fukayomi/ichiran/20151201-OYT8T50120.html?page_no=2&from=yartcl_page
- ・「NEVER まとめ」EXILEファンの『EXILEのライブに関する暗黙のルール』まとめ
<http://matome.naver.jp/odai/2134183682997432101>
- ・NHKニュースおはよう日本 2014年5月12日月曜日
<http://www.nhk.or.jp/ohayou/marugoto/2014/05/0512.html>